

よいことのために手を取りあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）
その他の木曜日（18：30～19：30）
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>
メールアドレス yoshida@shirakawa-cci.or.jp
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会 長 藤田 龍文
幹 事 運天 直人

創立1986年



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1884回例会 | 令和7年1月15日
12:30～13:30

創立40周年

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 地区職業奉仕委員会委員長 田代行孝様
- 井戸沼佳澄様

○スマイルBOX

- 田代行孝様（本日は職業奉仕に関する卓話をさせていただきました。職業奉仕の実践に向けて、皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。）
- 藤田龍文会長（本日は田代様、卓話ありがとうございました。寒い日が続きますので、会員の皆様におかれましては、健康に留意してお過ごし下さい。）
- 運天直人幹事（田代様、卓話ありがとうございました。職業奉仕あつてのロータリー活動ですので、たいへん勉強になりました。）
- 根本あゆみ会員（今年もよろしくお願いいたします。）
- 村上堅二会員（明けましておめでとうございます。今年もよろしく御願い致します。）
- 中目公英会員（本年もよろしくお願いいたします。穏やかな正月の為か、多くの方々に初詣にお越しいただきました。ありがたいことと存じ上げます。）
- 関谷亮一会員（田代様卓話ありがとうございました。）
- 石川格子会員（田代行孝様、本日はありがとうございました。また、職業奉仕担当例会に参加頂きありがとうございました。）
- 山縣栄寿会員（本日も、さわやかに、気持ち良く、スマイル スマイル スマイルでいきましょう。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 1月4日 初打ちゴルフコンペ

宮本多加夫、鈴木恒平、齋藤孝弘、鈴木孝幸、長克則、吉成茂、前原俊治、吉成真五郎、堀田一彦、運天直人

- 1月17日 後期地区委員会総会

諸橋和典、居川孝男、吉野敬之、堀田一彦、山縣栄寿、石川格子、十文字光伸

▶第1884回例会出席状況

(R7年1月15日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	57名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓓ 全正会員数	75名
Ⓒ ①の出席者数	29名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	10名
Ⓒ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ① - (② - ⑥)	67
① = ③ / ⑤ × 100 (例会出席率)	58.2%

本日のプログラム

■会長の時間



藤田龍文会長

皆様、改めまして新年あけましておめでとうございます。先週、年度初めの例会ございましたが、お休みになられて初めての方もいらっしゃいましたので、改めてご挨拶させていただきます。そして今日は、職業奉仕委員会の担当例会ということで、地区の職業奉仕委員会の委員長をやられております田代様から卓話いただきますので、後程楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。現在ロータリーのメッセンジャーのほうにも連絡回っていましたが、金田ガバナーエレクトがアメリカフロリダのオーランドでロータリーの国際協議会に参加しております。当クラブ初めてガバナー輩出となりまして、金田ガバナーエレクトは今アメリカで一週間ぐらいでしょかね、缶詰の研修を受けて次年度の国際ロータリー協議会の方針やいろいろなものを学んできて、日本に持ち帰られて当地区に還元されるということになるかと思います。3月に青木君が参加する会長の研修会。昔はPETSといいましたが、今年度からはPELS(ペルス)という名前になって、そちらに青木君のほうに伝達をされて私どものほうに翌年のメッセージや方針が伝わるということになるかと思います。ちょうどメッセンジャーのほうにあげております次年度のRI会長のメッセージスピーチというのが、こちら4〜5枚のページでございますので、興味ある方がいらっしゃいましたら持ってますので後で見ただけければと思います。今年は「よいことのために手を取りあおう」というのがRIのテーマでそちらは地区から全部このテーマに統一してくれということで、全部このテーマになっておりますが、次年度は「持続可能なインパクトを生み出そう」というのがRIのテーマになってるかと思います。その言葉がそのまま地区や各クラブにそのまま連動するか、それぞれに作るかはまたご報告があるかと思いますが、来年の世界の会長はオンライン・ハキーム・ババロラさんという聞き慣れない名前なのですが、ナイジェリア出身の方がRIの会長となります。職業分類は石油ガス関連ということで、とても規模が大きい会社の方かと想像ができます。そんなことで、来年金田ガバナーが誕生した時には「持続可能なインパクトを生み出そう」というテーマの中で、おそろくいろいろな部分でインパクトという言葉は沢山ババロラ会長は使っておりますので、変化ではなくインパクト。つまり、永続的な成果を生み出すことを目指していきましょうというような形で次年度は動いてくようになるかと思われます。是非、そちらも含めて今年と来年いろいろな部分で忙しい日程があるかと思いますが、是非皆さんお体に注意されまして残り後半と、そして来年度を迎えていきたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

○公益団法人白河青年会議所第69代理事長片桐伸太郎：公益社団法人白河青年会議所2026年度新年会開催のご案内

○ガバナーエレクト 金田昇：クラブ情報並びに会員データ登録のお願い

○福島民友社：広告掲載誌

○泉田ガバナー事務所：文庫通信のご案内

○米山記念奨学会：2025-26年度下期普通寄付金をお願い

○米山記念奨学会事務局 峯純子：ハイライトよねやま310号

■本日のプログラム

職業奉仕委員会担当例会

●職業奉仕委員会

石川格子委員長



本年度、職業奉仕委員長を仰せつかっている石川格子です。本日は、第2530地区職業奉仕委員会委員長の田代行孝様をお招きして職業奉仕についてお話をいただきます。基本のキを学ぶ機会というのが本当に少ないかなと思いましたので、こういった機会を設けさせていただきました。是非しっかり聞いていただければと思います。では、早速ですがよろしくお願いします。

●2025-26年度国際ロータリー第2530地区

職業奉仕委員会委員長

田代行孝様



改めまして皆さん、新年あけましておめでとうございます。地区の職業奉仕委員長を本年度仰せつかっております田代です。所属は白河ロータリークラブ。ロータリー歴は通算で27年ぐらいです。内容が非常にロータリーの委員会の中でも一番どちらかというとわかりにくい委員会の話ですので、まあゆっくりこう聞き流す程度で話を聞いていただければよろしいのかなと思います。去年、会津若松ロータリークラブでやっぱり職業奉仕の卓話に行ったんですね。その際にお話したんですけど、去年大河ドラマで「べらぼう」ご覧になった方多いと思うんですけど、松平定信、楽翁公の話が取りあげてありましたけども、読まれた方もいると思うんですけど司馬遼太郎さんの『街道をゆく』に出てくるんですよ。その中に書いてあったのは、定信公は寛政の改革をやった後に結構白河のためにいろいろと活動をしていると。それが私、昔のことは知らないのですが本のとおり言いますが、昔白河は、お酒まじったんです

よ。だから、これは上方の酒に学ぶしかない。で、上方の酒を学ぶためには当時の会津の教えを請わなきゃいけないということで、会津から杜氏を呼んで、当時二番町の「ふじや」さんという所でそういう酒造りを学ばせたという、会長のところですか。それは初めて聞きました。本に。そういう話があつて。その他、漆器とか織物なんかもやっぱり会津から学んだということが出ておまして。そういう点でも楽翁公というのは名君だったですねという話を会津若松ロータリークラブでさせていただいたんです。藩主の役目というのはあると思いますけども、やっぱりこう理念の人だったんだなという感じはしてるんですけど。今日、職業奉仕という話ですけども、実は職業奉仕ってありますとね、古い方に会員の方はねベテランの会員の方おられますけど、職業奉仕というとういうイメージをお持ちなんですか。どちらかというとロータリーの職業奉仕って看板で

あるロータリーの原点だとか職業奉仕言われるんですけども、じゃあその中身はと言われると、いろいろな人がいろんな意見を言うもんですから、非常に会員の方もわかりづらいという話があります。お隣の山形県。西クラブさんも姉妹提携しているクラブさんあるんですね。あるんですけど、2800地区のガバナーで鈴木一作先生ってお医者さんがいるんですけど、あの方がこう言ってるんですね。職業奉仕は一本の大木ではない。いわゆる、そのむしろ職業奉仕は木がいっぱい植わってる森だとかいう言い方したんですね。要するに、いろんな木の意見があるけれど、それらすべてを踏まえて職業奉仕を理解してもらえばいいんですよっていう考え方なんですね。だから、そういった意味で今日は皆さんと共にですね、職業奉仕をちょっと考えていただく機会にさせていただければと思っております。

職業奉仕の理念と実践

2025-26年度
国際ロータリー第2530地区

職業奉仕の理念と実践

職業奉仕委員会
委員長 田代行孝

ロータリー初期における職業奉仕理念の原点

2. B・F・コリンズ

1911年 第2回全米ロータリークラブ連合会

Service, not self 無私の奉仕

従来から所属のミネアポリスRCで使用していた言葉を紹介
ロータリアン同士の互恵関係を一般にも拡大するという意味

後にService, above self 超我的奉仕と修正

自分のことだけでなく、他人や社会を思いやり、
それらのためになることを実践しようという考え方

ロータリーの公式標語

Service, above self/One profits most who serves best

社会奉仕理念の原型/職業奉仕理念の原型



奉仕という概念の誕生

1905年 ポールハリス シカゴRC設立

定款第1条 本クラブ会員の事業上の利益の増大

定款第2条 通常社交クラブに付随する親睦及びその他の特に
必要と思われる事項の推進

1906年 ドナルド・カーター

定款第3条 シカゴ市最大の利益を推進し、シカゴ市民としての
誇りと忠誠心を市民の間に広める。

会員同士の内なる満足から外に向けての活動の奨励

互惠取引+親睦

社会奉仕概念の確立

ロータリー初期における職業奉仕理念の原点

3. 1915年 サンフランシスコ国際大会

「全分野の職業人のための倫理訓（道徳律）」

11条からなる具体的で分かりやすい職業倫理基準

内容が厳しすぎる・宗教的要素etc...現在は公式文書から削除

4. 1916年「ロータリー通解」ガイ・ガンディガー（フィラデルフィアRC）

会員一人一人の向上/会員の事業の向上/会員の同業者・業界全体の向上/

会員の家族、町、州、国並びに社会全体の向上

決議23-34を経て...

5. 1927年 ベルギーオステンド国際大会

四大奉仕部門の制定（クラブ/職業/社会/国際）

ロータリー初期における職業奉仕理念の原点

1. A・F・シェルドン

1910年・1911年 第1・2回全米ロータリークラブ連合会

He (→One) profits most who serves best

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。

既に1902年に自身が経営するシェルドン・ビジネス
スクールのカリキュラムの一節

製品のクオリティ、適正な価格、顧客への接客態度、アフター
フォローetc. これらを良く実践することで、顧客はリピーター
となり、結果商売は繁栄 自己の職業の永続的発展のための理念。



ロータリー初期における職業奉仕理念の原点

6. 1932年 四つのテスト

H・テラー（シカゴRC）創案

自社が倒産の危機に瀕した際に全社員に向けて発信

→業績改善

1954年にはその著作権をRIへ委譲



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事業を繁栄に導くための四通りの基準

四つすべてをクリアしなければならない

「言行はこれに照らしてから」

職業人にとって分かりやすい的確

戦後～現在まで

- 1987年 RI理事会「職業奉仕に関する声明」発表
修正を経て現在も継承
- 1989年 規定審議会「ロータリアンの職業宣言」採択
2014年「ロータリアンの行動規範」改正変更
- 2013年 規定審議会（RI定款と細則、標準RC定款の改正）
仕事をしたことのない人も正会員と認める。（主婦・主夫も可）
- 2016年 規定審議会 五大奉仕部門の職業奉仕の定義に、
「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが発見したプロジェクトに応えることが含まれる」を追加

職業奉仕の実践

（クラブレベル）

- ・プロジェクトの実施
会員の職業スキルを活かして、社会のニーズに応えるプロジェクトを開発する。
- ・職業指導
青少年に対して、会員の職業経験を活かし職業指導などを行う。
- ・職場訪問
会員同士が互いの職場を訪問し、それぞれの仕事について理解を深め合う。

職業奉仕の実践

- ※ 職場や生活において高い倫理基準を守る。
- ※ 「世界でよいことをする Doing Good in the World」
- ※ 自らの仕事を地域社会の改善に活かす。

加えて…

4つの行動計画（2019年～現在）

より大きなインパクト
をもたらす

参加者の基盤を広げる

参加者の積極的なかわり
を促す

適応力を高める

まとめ

ロータリー設立当初は事業への正しい取り組み方 **職業倫理**

1927年 四大（五大）奉仕部門で職業奉仕の確立

1980年代 国際ロータリー及びロータリー財団の巨大化

ポリオプラスetc. 陰徳から陽徳へ 広報公共イメージ向上

行動しよう **Take Action**

世界でよいことをしよう **Doing Good in the World**

⇒ **理念と実践** どちらも大切

職業倫理という**理念** 職業スキルを活かした**実践**

自分の職業において 個人やクラブが企画する奉仕活動において

職業奉仕の実践

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。

顧客はじめ全ての関係者への適切な対応

CSR（企業の社会的責任）・コンプライアンスetc.

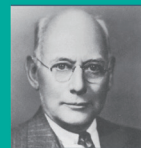
3. ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。

職業上の得意な分野を、個人レベルやクラブレベルでプロジェクトに活用し、地域社会のレベル向上に努める。

職業奉仕：職業奉仕を通じて社会に貢献すること

ロータリーの目的

意義ある事業の基礎として、
奉仕の理念を奨励しこれを育む



奉仕の理念：the Ideal of Service

Thoughtfulness of, and the helpfulness to others

他人を思いやり他人のためになる（チェスレー・ベリー）

⇒ **有意義な職業や諸活動の基本は、
他人を思いやり他人のためになることを奨励すること。**

職業奉仕の実践

Q. ニューヨーク在住の小児科医が、自分の休診日を利用して、ハリケーンで被災したバハマの小児科医院に赴き、診療の応援をする。これは職業奉仕でしょうか？

A. これは職業奉仕であり、社会奉仕でもあり、国際奉仕でもあり、青少年奉仕でもあります。

五大奉仕に色分けの必要はない。 五大奉仕は概念

国際ロータリーとロータリー財団が提唱する

「7つの重点分野」に即したより具体的な活動が求められる。

私たちは行動人です。

世界120万人のロータリー会員は、自らのスキルとリソースを生かして問題を解決し、地域社会のニーズに取り組んでいます。

ロータリーと一緒に行動しませんか。

ご清聴ありがとうございました。

参考資料 漆原根子「職業奉仕の変遷そして実践」

職業奉仕の実践

（個人レベル）

- ・倫理的な行動
ロータリーの理念に基づき、自らの仕事を律する。
- ・奉仕の精神の適用
職場、家庭、地域社会等、あらゆる生活の場で奉仕の理想を
実践する。

